

市が魅力を、価値を、エネルギーを「私に」伝える情報紙

広報とめ
トウ・ミー

To Me

4

Apr 2026
Vol.371

【今月の表紙】 石ノ森章太郎ふるさと記念館

企画展&指で描くワークショップ

(関連記事20ページ)

【特集】 第三次登米市総合計画

自信と過信・未来への羅針盤

【ときめき人】

登米オールスターズ

— CONTENTS —

- P 2 特集1 自信と過信
- P 8 特集2 未来への羅針盤
- P16 今月のお知らせ
- P20 ホットライン
- P22 市民の広場
- P24 健康に関する情報
- P26 情報広場
- P32 ときめき人

交通事故から大切な人を守る

自信と過信

全国的にも宮城県内でも、交通事故死者数の半数以上が高齢者。65歳以上の高齢ドライバーの割合は年々増加し、75歳以上になると重大事故の発生割合がさらに高くなるといわれています。一方で、本市は車がないと生活に支障が出る地域が多く、危険だと分かっているにもかかわらず運転免許を手放さないのが現実です。

核家族化による高齢者世帯の増加など、時代とともに変化する生活スタイルを変えることは難しいですが、私たち次第で減らせる交通事故はあるはずです。

今号では、高齢ドライバーによる交通事故の現状から、安心して暮らせるまちにするために、私たち一人一人に必要な交通安全の鍵を探します。



いつ、どこで、どんな事故が起きているのか

県内では、全体の交通事故の発生件数が減少傾向にある中、高齢ドライバーによる交通事故はここ数年横ばいになっています。高齢ドライバーの現状や交通事故発生状況について、佐沼警察署交通課の武田勝博課長に聞きました。

平穏な日常を奪う交通事故

令和7年中、県内での交通事故は3730件発生し、年々減少しています。市内では61件で、令和6年より34件減少しました。市内の死亡事故は、令和6年に2件発生し、人口1万人当たりの死亡事故件数が県平均よりも高くなりましたが、令和7年は発生しませんでした。交通事故の発生件数が減少してきたのは、自動車の安全性能の向上や道路環境の整備が進んできていること、そして交通安全団体の啓発活動によって、社会全体の交通安全意識が高まってきたからだと考えられます。

県全体の交通事故件数は減ってきていますが、高齢ドライバーによる発生件数は令和3年以降ほぼ横ばいになっています。

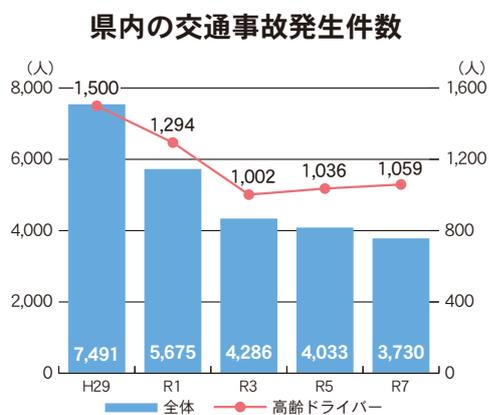


市内では、国道346号や県道古川佐沼線などの交通量が多い幹線道路で事故が多発

交通事故は、午前10時台と午後2時台に多く、ほかの世代と比較して交差点や駐車場で発生する割合が高くなっています。出会い頭の事故が全体の約3割で最も多く、次に多いのが追突事故です。これは、加齢に伴う認知機能の低下による標識の見落としや、柔軟で瞬間的な判断力と反射神経が鈍くなることで、とっさの対応が遅れることが原因だと考えられます。

高齢者の免許保有者数が増加

県内の高齢者の運転免許保有者数は、10年前が約30万人だったのに対し、現在は約40万人まで増加しています。現在、交通事故に占める高齢ドライバーの割合も増加傾向にあります。



また、アクセルとブレーキの踏み間違いによる事故も依然として発生しています。

交通事故の防止は「自覚」から

交通事故を防ぐためには、身体能力の低下や瞬間的な対応が困難になっていることを自覚することが大切です。高齢者マークは、70歳以上75歳未満で運転に不安を感じ始めた人は表示し、75歳以上の人は表示が義務になります。マークを表示することで自覚を持って運転を見直し、また周囲に知らせることで防止につながります。そして、一般ドライバーは子どもや高齢歩行者などをよく確認し、ゆとりと適度な緊張感を持って運転するように心がけてください。



佐沼警察署交通課 課長 武田 勝博さん

悲しい事故を防ぐため 全ての人に「思いやり」を

昨年、高齢を理由に66年間の運転歴に終止符を打った87歳の岡部安浩さん。日常生活が不便になることを覚悟の上で運転免許を返納しました。そこには家族の思いと、岡部さん自身の決意と願いが込められていました。



迫町市場
やすひろ
岡部 安浩さん

家族の説得で返納を決意

妻と子どもにも、運転中に脇見することが多くなってきたから運転をやめた方がいいと言われたので免許を返納しました。

昨年の夏に、交通事故を起こしてしまったんです。その時に、反応が鈍ってるんだなと自覚しました。それに、交通ルールを守らない人がいたり、子どもが急に飛び出してきたりしたときなど、予想外の動きに瞬時に対応できるか不安になりました。

高齢者講習会でもほぼ満点だったので、まだまだ自信はありますし、今でも運転を諦めきれない気持ちがあります。事故を起こし

てからでは遅いという家族の説得を受け入れて返納を決断しました。返納して市民バスの無料券をもらったので、先日乗ってみました。この機会に、バスでいろんな場所に行ってみようと思います。

使いやすい移動手段の充実を

今は妻が運転できるので、いつでも買い物や病院に行くことができますが、数年後には妻も運転できなくなると思います。最近では宅配サービスも充実してきましたが、今後さらに高齢世帯が増えると思うので、通院や買い物に行きやすくなるような移動手段がもっと充実すると助かりますね。

「思いやり」で事故のないまちに

車は便利でなかなか手放せませんが、運転は常に危険と隣り合わせだということを忘れないでください。そして、それは高齢者に限ったことではありません。取り返しのつかない交通事故を起こしてしまつたら、数えきれないほど多くの人を不幸にします。交通事故をなくすためには、全ての人が全ての人に対して思いやりの気持ちを持つことが大切だと思います。

高齢者が加害者ではなく被害者になる交通事故も後を断ちません。思いやりの気持ちで、悲しい交通事故がなくなることを願っています。

— 免許返納者を支援 —

市は、運転免許を自主返納した人への支援として、市民バスの1年間無料乗車券「あしがるくん」を交付しています。詳細は市公式ホームページをご覧ください。どうか、問い合わせください。



市公式HP「運転免許自主返納支援事業」



【問い合わせ】市民生活部市民生活課
☎0220(58)2118

地域の足デマンドタクシー

運転できない人たちの足として、路線バスとタクシーの中間的な位置づけで始まったのがデマンド型乗合タクシー。予約した人の自宅から、市が指定する乗降場所まで乗り合いで移動する交通手段です。

現在は、市内5地区で運行。通院や買い物など、暮らしを支える身近な生活交通手段として着実に広がりがつつあります。

東和町錦織地区では令和2年から運行を開始。運営している錦織地域振興会の猪股良雄さんは「高齢者を中心に少しずつ利用者が増



移動の自由度が高く、タクシーよりも安いのが特徴。地域住民の生活を支える足として活躍しています



錦織地域振興会 会長
猪股 良雄さん

え、小学生も含めて1カ月に延べ140人程が利用しています。高齢者が買い物に利用することが多くなってきた、便利で助かっていると好評です」と手応えを口にします。

地域内の公共交通の充実は、単に移動手段の確保だけが目的ではありません。外出しやすい環境を整備することで、社会参加や生きがいを生み出すほか、地域経済の活性化も期待できます。

「高齢者世帯の増加に伴い、公共交通の重要性は今後さらに高くなってくると思います。便利で手軽に利用できて、地域に愛される交通手段として運行していきたいです」と、生活しやすい地域社会の実現を目指します。



お客さんは「近くにお店がないからとても助かってるんだよ」と笑顔で買い物をしていました

だが、お客さんからのリクエストで、今は乳製品や加工食品も販売しています。お客さんはかなり減りましたが、必要としてくれるので続けています。東日本大震災後は、南三陸町から移住してきた人たちに、新鮮な海産物が買えるって喜んでもらえるので、こつちもうれしくなりますね」とやりがいを口にします。

「お客さんと会って会話するのも楽しいし、笑顔に会えると元気をもらえるから40年も続けられたと思います。だから、自分も食品とかが販売するだけではなく、元氣も一緒に届けたいと思ってるんです。いつまで続けられるかは分かりませんが、優しい笑顔で応えてくれました。」



丸満水産
千葉 満さん

地域へ出向く移動販売

千葉さんが言うように、少子高齢化と核家族化が進むにつれて、自分で買い物に行くのが難しいという人たちが近い将来さらに増えていくことが予測されます。

「昔は海産物だけ販売してまし

かけがえのない命を守る 安全・安心は「意識」の先に――

市内各地では、さまざまな交通安全の活動が展開されています。それでも起こる可能性があるのが交通事故。防止するポイントについて市交通安全指導隊の山形智章隊長に話を聞きました。



登米市交通安全指導隊 隊長

山形 智章^{ともあき}さん

経験が自信となり過信に

交通事故を防止するためには、車の運転技術や交通ルールなどの知識はもちろんですが、「常に危険を予知する」ということがとても大切であり、不可欠です。

危険予知能力や運転技術は経験を重ねることで向上し、やがて自信になります。そこで注意しなければならぬのが、自信が過信になっていないかということです。運転に慣れていくからと、スマートフォン操作などの「ながら運転」や、よそ見をしたりしていませんでしょうか。交通事故は皆さんの予測の範囲を超えて起こります。それでも、事前に予測しておくことで防ぐことができる事故は少なく

ありません。交通事故が起こる可能性は常にあるのです。

どんなときでも油断大敵

私たち指導隊は、街頭指導や街頭広報活動を通じて、交通事故防止を呼びかけていますが、全ての交通事故を防ぐことはできません。また、これからの季節は、初めて学校に通う小学1年生や新たな場所へ自転車で通学する中高生のほか、車の運転に慣れていない人が増えるので、思いがけない動きに注意が必要です。

徒歩や自転車で移動するときも、転倒などにより大けがや命を落とすこともあるので、どんなときでも油断しないでください。

地域ぐるみで目指す交通事故ゼロ

中津山コミュニティ運営協議会は、佐沼地区交通安全協会中津山支部と共催で、市内在住の高齢者を対象に交通安全教室を開催しています。教室では、機材を使用して俊敏性や反射神経をゲーム感覚で楽しく測定しています。測定結果と自分の感覚との違いに

驚く人が多く、「能力の低下を自覚できる」と好評で、交通安全につながっていると感じています。今後も、地域ぐるみで交通事故を防止していきたいと考えています。



反射能力を測定する参加者



中津山コミュニティ
運営協議会
佐々木 明日歌^{あすか}さん



交通安全のポイント

【歩くとき】

- ・「歩きスマホ」をしない
 - ・横断歩道が近くにある場所では横断歩道を利用する
～サイン・サンクス運動～
- 信号機のない横断歩道では、手を上げてサイン(合図)して、安全を確認してから渡り、車にサンクス(感謝)を伝えましょう

【車を運転するとき】

- ・スマホ操作などの「ながら運転」や「よそ見運転」は厳禁
- ・横断歩道は歩行者が優先。運転中に横断歩道に近づいたら速度に注意して、横断歩行者がいれば一時停止する
- ・飲酒運転やお酒運転は犯罪です

【自転車に乗るとき】

- ・大人も子どももヘルメットを着用する
- ・4月1日から、スマホなどを操作する「ながら運転」や「信号無視」などを対象に、自転車の交通違反にも反則金制度が適用

全市民の意識向上が「鍵」

高齢者の交通事故防止は重要ですが、交通事故ゼロを目指すための「鍵」になるのは、全市民一人一人が日頃から交通安全に対する意識を持ち続けるということです。

市交通安全指導隊は、令和7年4月から各地区隊より選出されたメンバーで交通安全教育に取り組みんでいます。将来を見据え、幼少期から交通安全に対する意識を持ってもらえるように、幼児や児童を対象にした交通安全教室を開催しています。

いつも心に交通安全を

登米市には、運転するのが難しいと感じても、車がなければ生活を維持していくことが困難だという人が多くいるのも事実です。そのような状況の中で、交通事故を完全になくすることは簡単ではありませんが、それでも私たちは諦めることなく、これからも活動を継続していきます。

コミュニティ組織などの地域団体でも交通安全の取り組みが広がってきているので、交通安全の意識が徐々に高まってきたと感じています。自分や家族、そして誰かにとってのかけがえのない命を守るためにも、いつも交通安全を心の中に持ち続けてください。その「意識」が、安心して住み続けられるまちへの鍵になるはずですよ。



登米児童館で開催した交通安全教室。子どもたちは信号機の見方や道路の渡り方を学んだ

春の交通安全市民総ぐるみ運動を実施

4月6日(月)から15日(水)までの期間で実施され、4月10日は「交通事故死ゼロを目指す日」です。新学期や新生活が始まり、交通量や歩行者の動きが変化するこの時期は、交通事故が発生しやすくなります。「みんなで登米(とめ)っ

ぺ交通事故!!」を合言葉に、交通事故を防ぎましょう。

【問い合わせ】

佐沼警察署 ☎0220(22)2121

登米警察署 ☎0220(52)2121

市民生活部市民生活課(市民総務係) ☎0220(58)2118



市公式HP「令和8年春の交通安全だより」

新たな総合計画がスタート

未来への羅針盤

今後10年間のまちづくりの方向性を示す第三次総合計画が令和8年4月からスタートします。安全・安心で豊かに暮らし続けられるまちへの指針となる総合計画を紹介します。

【問い合わせ】まちづくり推進部まちづくり推進課
(まちづくり推進係)
☎0220(22)2147

あふれる笑顔 豊かな自然 住みたいまち ための の実現に向けて

本市は、平成17年4月の合併により誕生し、20年という大きな節目を迎えました。この間、本市を取り巻く社会経済情勢は大きく変化しました。人口減少と少子高齢化が進む中、財政状況は厳しさを増すとともに、大規模自然災害の発生や長期化する物価高騰など、さまざまな課題への対応が求められています。

また、価値観や生活スタイルが多様化し、地域のつながりの希薄化や担い手不足など、地域社会が抱える課題も顕在化しています。

さらに、市民ニーズがより多様で高度なものになっていく中で、本市はこれまでの歩みを未来へとつなぎ、持続可能なまちづくりを推進してまいります。将来像に掲げる「あふれる笑顔豊かな自然住みたいまち ための」の実現を目指すとともに、「市民生活第一主義」のもと、心身ともにゆとりと誇りを感じられ、夢のある登米市づくりに努めてまいりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、本計画の策定に当たり、ご審議をいただきました登米市総合計画審議会委員ならびに市議会議員をはじめ、貴重なご意見やご提言をお寄せいただきました市民の皆さまに対し、心から感謝申し上げます。



登米市長
やすのぶ
熊谷 康信

10年後の将来像を描く

変化する社会情勢 さまざまな課題に対応

本市は、平成17年4月に登米郡8町(追町、登米町、東和町、中田町、豊里町、米山町、石越町、南方町)と本吉郡津山町が合併して誕生。平成18年3月には本市として初めての登米市総合計画を策定し、27年12月には第二次登米市総合計画を策定して各種施策に取り組んできました。

この20年間、東日本大震災をはじめ、新型コロナウイルス感染症の流行など、変化と困難に直面する時代を歩み、本市を取り巻く社会経済情勢は著しく変化してきました。人口減少や少子高齢化、生活を一変させた新型コロナウイルス感染症による地域経済の低迷など、多くの課題に対応していくことが求められています。

より重要性が増す 協働のまちづくり

近年における社会の変化は特に目まぐるしく、市民ニ

ズの多様化・高度化が一層進み、協働のまちづくりの重要性が増しています。

こうしたことを踏まえ、まちづくりの基本理念である「協働による登米市の持続的な発展」を目指し、基本構想と基本計画を示して戦略的に推進していくことが、まちづくりに必要不可欠です。

将来見据え目標を明確化 まちづくりの指針を策定

令和8年度以降の中長期的な展望のもと、目指すべき市の将来像である「あふれる笑顔豊かな自然住みたいまちとめ」を引き続き掲げ、その実現に向けた目標を明確にするとともに、これからの10年間に取り組んでいく重要政策をまとめた、まちづくりの指針となるのが「第三次登米市総合計画」です。総合計画は市公式ホームページに掲載しています。

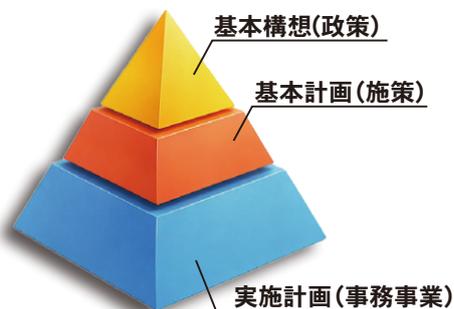
総合計画は
こちらから
(市公式HP)



総合計画ってどんな計画？

総合計画は、まちづくりのあらゆる分野を網羅し、将来に向けて目指すまちの姿と進むべき基本的な方向性を示すもので、総合的で計画的な市政運営を進めるために策定する本市の最上位計画です。目標年度は令和17年度で、基本構想、基本計画、実施計画の3層構造で構成されています。

また、この計画は、市民、地域、事業者、団体、行政といったさまざまな地域社会の担い手が、本市の目指すまちづくりの方向性を共有し、同じ方向を向いて協働のまちづくりを進めていくための道標としての役割を担うものです。



【基本構想】令和8年度～17年度

まちづくりの基本的な理念や、目指すべき将来像、まちづくりの基本方向などを示し、長期的な視点に立ったまちづくりの将来ビジョンです。

【基本計画】令和8年度～17年度

基本構想に掲げた目指すべき将来像を実現するための施策体系を示すもので、各施策の分野ごとに本市の現状と課題を踏まえた、今後の方向や主要施策等を定めます。10年間の計画ですが、社会経済情勢の変化に的確に対応するため、策定後5年をめぐりに必要に応じて見直しができることになっています。

【実施計画】毎年度策定

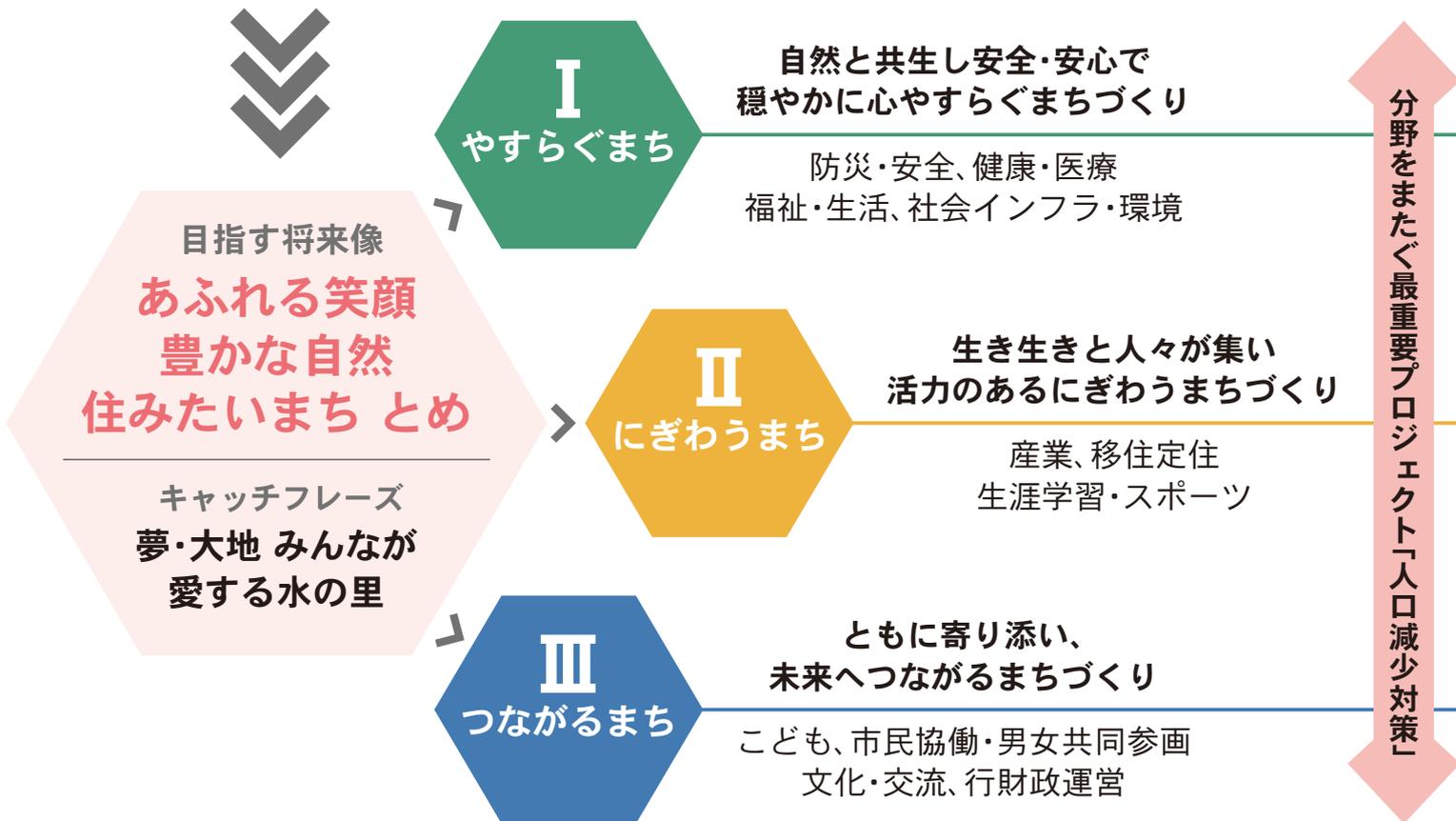
基本計画で示した施策体系に基づく具体的な事業計画で、毎年度の予算編成と事業実施の指針となる事業計画を示すものです。財政状況の変化などに応じて補正を加えて見直すローリング方式により、毎年度策定する3年間の計画です。

体系と政策

将来像「あふれる笑顔 豊かな自然 住みたいまち とめ」の実現を目指して、3つのまちづくりの基本政策により、各分野における施策を展開します。

基本理念

協働による登米市の持続的な発展



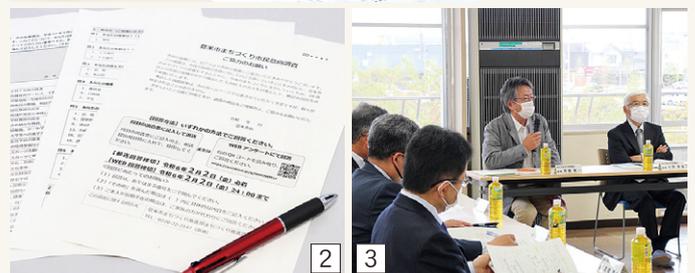
市民の声を計画に

第三次登米市総合計画は、令和5年度から準備を進め、宮城大学の徳永幸之^{よしゆき}特任教授をはじめ、識見者や公共的団体の役職員などで構成する登米市総合計画審議会で審議し、市議会とも議論を重ねて策定しました。

市の最上位計画である総合計画の策定に不可欠なのが市民の皆さんの声です。住民基本台帳から無作為に抽出した市内在住の18歳以上の5千人を対象に「まちづくり市民意向調査」を実施しました。そのほか、中高生へのアンケート調査や市民ワークショップ、パブリックコメントなどを通じて、多くの人の意見を聴いて策定しています。



1 ワークショップではどんなまちにしたいかなどのアイデアを出し合った2意向調査の回答率は38.8%で前回より6.7ポイント増加3審議会では、さまざまな視点で審議された



2 3



自然と共生し安全・安心で 穏やかに心やすらぐまちづくり

快適で持続可能なまちに

市が取り組む施策の根幹は、全ての市民の安全・安心の確保です。生命や財産を守り、穏やかに、そして質の高い生活が送れるよう、安心感や快適さが得られるまちづくりを推進します。

防災対策を充実し、災害に強いまちづくりを推進するとともに、全ての市民が個人として尊重され、健康で自分らしく、生き生きと暮らせるまちを目指します。

また、生活を支える社会インフラについては、上下水道の安定的なサービスの提供をはじめ、道路網を充実させ、利便性の向上を図ります。

都市機能と各地域拠点に関しては、中心市街地の活性化と併せ、それぞれの地域の特色を生かしたまちづくりを推進するとともに、「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」の考え方のもと、生活に必要な都市機能の維持と各地域拠点を結ぶ公共交通ネットワークを充実させることにより、持続可能なまちづくりを

推進します。

さらに、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「カーボンニュートラル」の実現に取り組み、誰もが快適に暮らすことができ、地球にもやさしいまちを目指します。

政策の分野	個別政策
1 防災・安全	1 防災・減災対策の推進 2 防犯・交通安全対策の推進
2 健康・医療	1 健康づくりの推進 2 地域医療の確保と救急体制の充実
3 福祉・生活	1 福祉の充実と権利擁護の推進 2 生活支援の充実
4 社会インフラ・環境	1 社会基盤の充実 2 環境保全とゼロカーボンシティ・循環型社会形成の推進

■主な施策(抜粋)

- 防災対策の充実
- 防犯対策の充実
- 健康づくりの推進
- 地域医療の確保
- 地域福祉の推進
- 低所得者福祉等の充実
- 良好な土地利用の推進
- 自然環境の保全

■代表的な指標(抜粋)

指標名	現状値 令和6年度	中間目標値 令和12年度	目標値 令和17年度
女性防災指導員配置率	19.3%	50.0%	70.0%
健康寿命	男性78.90年 女性83.53年 (令和4年)	81.54年 85.11年	82.84年 86.03年
認知症サポーター養成講座受講者数(累計)	7,880人	11,300人	14,700人
人口1人当たりの公共交通年間利用回数	3.93回/人	4.39回/人	4.68回/人





生き生きと人々が集い 活力のあるにぎわうまちづくり



心豊かに暮らせるまちに

市民の皆さんが生き生きと生業なりわいに励みながら、心豊かに暮らし、市内外から人が集い、にぎわう、活気あるまちづくりを推進します。

農林業における担い手の育成や地元の雇用創出を図り、本市の産業を持続可能なものとし、地域経済の発展を目指します。畜産では、全国有数のブランド牛である仙台牛の主産地として、子牛生産から肥育まで地域内一貫生産を推進し、ブランド力向上による競争力強化を図ります。

また、観光誘客や移住定住の促進により、市内外の人々が集い、にぎわうまちづくりを進めます。

さらに、全ての市民が生涯を通じて自ら学び、日常

的にスポーツ活動に励むことができ、環境を提供し、心豊かに暮らせるまちを目指します。

政策の分野	個別政策
1 産業	1 農林業の振興 2 商工業の振興 3 観光物産の振興 4 起業支援・企業誘致の推進と雇用の創出
2 移住定住	1 移住定住の推進と居住環境の確保
3 生涯学習・スポーツ	1 生涯学習の推進 2 スポーツ活動の推進

代表的な指標(抜粋)

指標名	現状値 令和6年度	中間目標値 令和12年度	目標値 令和17年度
農業産出額	42,476百万円 (令和6年)	54,128百万円 (令和12年)	56,000百万円 (令和17年)
市の支援制度を利用して移住した人数(累計)	920人	1,500人	2,000人
社会教育事業への延べ参加者数	65,038人	67,600人	69,600人

主な施策(抜粋)

- 農業生産の振興
- 商工業の振興
- 観光の振興
- 移住・定住の推進
- 生涯学習の推進
- スポーツ活動の推進
- 森林整備の推進と木材生産加工流通体制の整備
- 起業・創業、市内企業の新規事業への支援

Policy

III

ともに寄り添い、 未来へつながるまちづくり



持続し発展するまちに

市民の皆さんと共に本市の基本理念を次世代へとつなぐ、持続・発展させていくという方向性のもと、市民と行政との連携により、未来へとつなぐまちづくりを推進します。

将来の登米市を担う子どもたちが、豊かな感性や創造力を育み、健やかに成長できるよう、子育てと学びの環境づくりを推進するとともに、文化財の保護や文化・芸術活動の充実を図り、これまでの歴史や新たな文化を後世へとつなげます。

また、コミュニティ組織

などの地域づくり活動をはじめとする協働のまちづくりを推進し、男女が対等に責任を担いながらまちづくりに参画できる社会、仕事と家庭を両立できる環境の醸成を目指します。

さらに、デジタル技術の目ざましい発展を背景に、日々進化し続けているデジタル技術を活用し、人口減少社会に対応した、人に優しいデジタル化を推進するとともに、効果的で効率的な行財政運営に努め、持続可能な市政運営を推進していきます。

政策の分野	個別政策
1 こども	1 子育て支援の充実 2 学校教育の充実
2 市民協働・男女共同参画	1 市民協働・男女共同参画社会の推進
3 文化・交流	1 文化財の保護と文化・芸術活動の推進 2 国際交流・地域間交流の推進
4 行財政運営	1 DX(デジタル・トランスフォーメーション)の推進 2 効率的な行財政運営の推進

■ 主な施策(抜粋)

- 子育て支援の推進
- 幼児教育の充実
- 学校教育の充実
- 市政への市民参加の推進
- 文化財等の保護・継承
- 国際交流の推進
- 市民の利便性向上
- 行政組織の適正化

■ 代表的な指標(抜粋)

指標名	現状値 令和6年度	中間目標値 令和12年度	目標値 令和17年度
産婦健康診査の受診率	95.9%	100.0%	100.0%
ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の認知率	54.1%	65.0%	70.0%
文化施設への入場者数	196,233人	200,000人	212,000人
電子申請サービス(申請件数)	3,276件	4,400件	5,400件



最重要プロジェクト

人口減少対策

2つの視点で施策を展開

全国的な問題となっている人口減少を背景として、本市でも少子化などによる人口減少が続いています。人口減少が進行すると、雇用の機会減少や経済・産業の縮小と相まって地域の活力が低下する恐れもあります。人口減少対策は、本市における最重要課題です。

このことから、「人口減少対策」を本計画の「最重要プロジェクト」として位置づけ、各分野の施策を展開・連携させながら、その対策に取り組んでいきます。

人口減少が急速に進展すると、市政運営への影響も大きくなり、全ての課題への対応が難しくなることが想定されます。人口減少の影響を最小限に食い止めるため、人口減少の進行を緩やかにする取り組みが必要です。

併せて、人口減少社会にあっても、市民一人一人が暮らしやすさを実感し、地域の活力を維持していく取り組みが求められます。本計画では、「やすらぐまち」「にぎわうまち」「つながるまち」の3つのまちづくりの基本政策のもと、次の2つの視点から人口減少対策に横断的に取り組めます。

▼減少を緩やかにするデザイン

本市の人口減少は、少子高齢化により死亡者が出生者を上回る自然減少と年齢階層別人口の推計において、特に15歳から24歳の年齢階層で転出者が転入者を上回る社会減少が主な原因です。

このため、人口動態における出生数の増加と健康寿命の延伸による「自然減少の抑制」、社会動態における転入者の増加と転出者の抑制による「社会減少の抑制」が求められます。人口減少の幅を緩やかにするため、「結婚から出産、子育てまで切れ目のない支援をはじめとする自然減少の抑制」「移住・定住の促進と雇用の確保をはじめとする社会減少の抑制」に取り組んでいきます。

▼暮らしやすいまちをデザイン

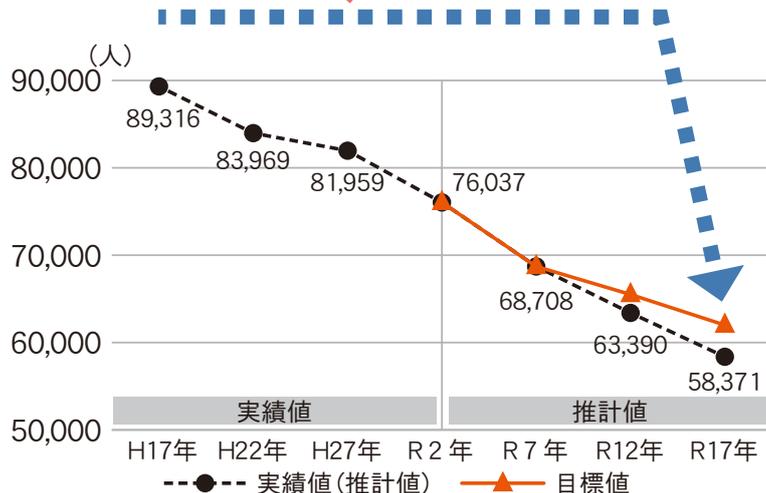
今後、本市は、人口減少の幅を緩やかにする取り組みを進めますが、劇的な人口の増加は見込めない状況にあります。

本市には、豊かな自然や美しい田園風景、先人から引き継がれている歴史や文化など、都会にはない魅力がたくさんあります。こうした本市の魅力を守りつ

つ、生活環境の向上やまちのにぎわいの創出、さらにはデジタル技術の活用など、新たな展開を取り入れていくことが効果的だと考えられます。誰もが暮らしたく、幸せを感じられ、住み続けたいと思えるまちづくりを進めるため、「住環境の向上」「シティプロモーションや交流の促進などによる、まちの活気の創出」「デジタルを活用した利便性の向上」に取り組んでいきます。

将来の人口目標

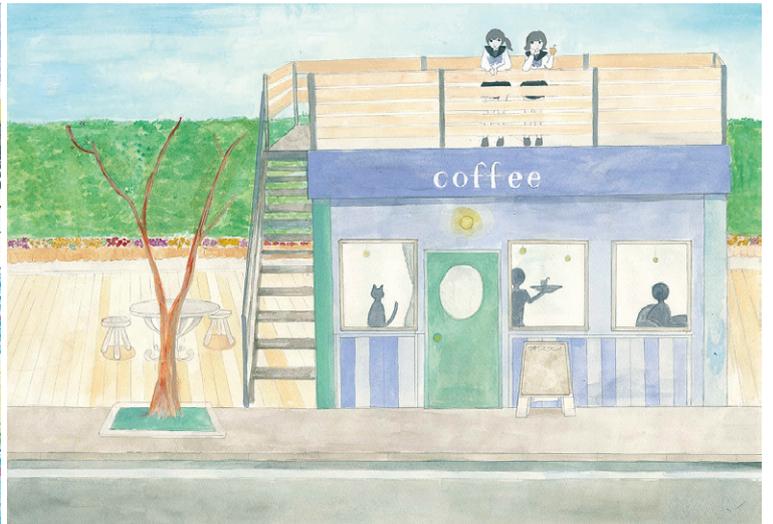
61,000人



平成17～令和2年は国勢調査による数値で、令和7～17年は推計値を記載
資料：令和2年の国勢調査に基づく国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年12月)」



思いと願いを推進力に変えて――



一人一人の思いと共に 幸せを紡ぐ新たな10年へ

この絵は、「10年後の登米市のまち絵画コンクール」の入賞作品です。これらの作品には、小中学生の未来への夢と希望、そして多くの願いが込められています。

幸せは人によって十人十色かもしれないませんが、豊かに生活したいという願いは同じはずです。私たちが幸せに暮らすことができ、子どもたちが夢や希望を実現できるまちにするために、自分にできることを考えてみてください。

各施策を進めるのは行政の役割ですが、目標の達成に不可欠なのは、ほかの誰でもない私たち一人一人の「行動」と「協働」です。心の中に、登米市を「幸せで豊かに暮らせるまちにしたい」という思いと願いがあれば、それが推進力となり、きつとこの計画が羅針盤となつて明るい未来へ導いてくれるはずです。未来への地図を描き、今こそ新たな一歩を踏み出しましょう。幸せを紡ぐ10年の旅路へ――。

Information
01

市民バスの利便性を向上 運行ダイヤを改正します

4月1日から、利便性を高めるとともに、より効率的に運行するため、市民バス運行ダイヤなどを改正します。



- 【主な変更内容】**
- **米山沼線**
▼8便の起点を佐沼高校正門前からミヤコーバス佐沼営業所に変更
 - **登米線**
▼2便を減便
 - **東西循環線**
▼3便をイオンスーパーセンター前経由に変更
 - **津山線**
▼7便を宝江経由から浅水経由に変更
 - **豊里線**
▼2便・7便を減便
 - **南方線**
▼2便の起点を佐沼高校正門前からミヤコーバス佐沼営業所に変更
▼5便の瀬峰駅前午後0時22分発を1時10分発に変更
▼11便を新設(瀬峰駅前午後7時55分発佐沼方面行き)
 - ▼12便の起点を登米総合産業高校前からミヤコーバス佐沼営業所に変更
 - **新田線**
▼7便を減便
 - **石越線**
▼新たに「くりこま高原駅前バス停」を追加
▼12便の起点を登米総合産業高校前からミヤコーバス佐沼営業所に変更
 - **中心市街地循環線**
▼全便の起終点を登米市役所からミヤコーバス佐沼営業所に変更
▼1便の午前9時発を10時発に変更
▼2便の午前10時40分発を11時12分発に変更
▼3便の午後1時発を1時30分発に変更
▼4便の午後2時40分発を2時42分発に変更

※このほか、一部の便で運行時刻等の変更があります。新たに乗り換えが必要になる便がありますので、ご注意ください。

さい。改正後の時刻表は、市公式ホームページに掲載するほか、各総合支所、ミヤコーバス佐沼営業所などで配布します

【問い合わせ】まちづくり推進部市民協働課(地域交通・交流係)

☎0220(22)2173



市公式HP「市民バス情報」

Information
03

乳児等通園支援事業(こども誰でも通園制度)がはじまります

全ての子どもを育ちを応援し、子どもの良質な成育環境を整備するとともに、全ての子育て家庭に対して、多様な働き方やライフスタイルにかかわらず、月一定時間までの利用可能な中で、就労要件を問わず時間単位で柔軟に利用できる新たな通園制度が始まります。

Information
02

朝の時報の時間が 変わります

現在、緊急告知放送設備(屋外スピーカー)の動作確認のため、午前6時、正午、午後5時の1日3回時報を放送していましたが、勤務体系の多様化や生活様式の変化に対応するとともに、子育て世代の生活環境に配慮し、4月1日から午前6時の放送を午前7時に変更します。正午と午後5時の放送は、これまでと変わらずに放送します。



【問い合わせ】総務部市長公室(広報広聴係)

☎0220(22)2090

に支払います。

※詳しくは、市公式ホームページをご確認ください

【問い合わせ】福祉事務所子育て支援課(子ども保育係)

☎0220(58)5562



乳支ど通園(こども誰でも通園制度)市公式HP「乳支ど通園(こども誰でも通園制度)」

【開始日】4月1日(水)

※事前に認定の申請や面談が必要で、その後に利用可能になるのでご注意ください

【対象年齢】利用日において、0歳6カ月～満3歳未満児(3歳の誕生日の前々日まで)

【利用可能枠】乳幼児1人当たり月10時間まで

【利用料】利用施設ごとに決められている料金を、直接施設

地域の力でまちをより良く
協働まちづくり活動を支援



地まち
協働事業
HP「地域
づくり補助金」



▲令和7年度実施=びいすキャンプの運用

令和9年度に実施する、地域の特色を生かしたまちづくりや地域課題を解決するための活動を支援します。

【資格要件】市民活動団体、市民活動を継続的に実施する一般社団法人等で、次の全てに該当する団体▼市内に活動拠

点がある▼運営や組織に関する規約や定款等を定めている

▼政治活動、宗教活動または営利を目的としない

【事業期間】単年度。ただし、事業の性質上、事業期間が複数年度にわたる場合は2年まで

令和9年度に実施する、地域の特色を生かしたまちづくりや地域課題を解決するための活動を支援します。

【補助率】2分の1以内。ただし、事業期間が複数年度にわたる場合、2年目は3分の1以内

【限度額】50万円

【申込期限】9月30日(水)

※申し込みの際は、事前に相談ください

※10月頃に予定している審査会で、採択の可否を決定します

【申し込み・問い合わせ】まちづくり推進部市民協働課(市民活動支援係)
☎0220(22)2173

交通安全に尽力
交通栄誉章「緑十字銀章」受章



多年にわたり交通規則を守り、常に交通安全を心がけ、他の運転者の模範となり、安全運転の推進に顕著な功績があったとして、登米地区地域交通安全活動推進委員協議会副会長の千葉幸弘さん(70)と東和町米川2区IIが交通栄

誉章「緑十字銀章」を受章しました。この表彰は、警察庁長官と全日本交通安全協会会長が表彰するもので、1月14日に東京都で開催された「第66回交通安全全国民運動中央大会」で表彰状が千葉さんに授与されました。

登米公民館が優良公民館表彰において「優秀館」に選定

地域住民の学習活動に大きく貢献している公民館等に対し、文部科学大臣が表彰する優良公民館表彰において、登米公民館が「優秀館」に選ばれました。令和7年度は全国の60館が優良公民館として表彰され、その中から特に優れた取り組みをした5館を優秀館として選定。優良公民館表彰を受賞したのは本市では2館目で、優秀館に選ばれたのは今回が初めてです。

登米公民館は、スローガン

「One for all , All for one」のもと、障がいの有無にかかわらず参加できる共生事業や、地域愛を持つ若者による「とよま応援サポーター青年団・羽波芭酒場」の結成など、社会環境の変化と地域のニーズを捉えた事業の展開が高く評価されました。

表彰を受けて、登米公民館の職員皆さんは「日頃から公民館活動を支えてくださる皆さまに心から感謝します。この受賞は、地域の皆さまと職員が力を



合わせ、一つ一つの取り組みを積み重ねてきた結果です。今後も、人が集い、学び合い、つながりを深める場として、地域に元気と笑顔を広げていきたいです」と、喜びと今後への思いを語りました。

本のポップ 創作コンクールを開催

市教育委員会は、第8回登米市子ども「本のポップ創作コンクール」を開催しました。市内全ての小学校に備え付けている「上杉文庫」の本を紹介するポップ作品を、市内の小学4年生から6年生までの児童を対象に募集し、460点の応募がありました。

入賞者は、次のとおりです。

- (敬称略)
- 【最優秀賞】後藤到(東和小)
 - 【優秀賞】▼峰田莉穂(加賀野小)▼千葉真央(加賀野小)▼佐藤灯(東和小)



最優秀賞作品「じしん、こわかった」(後藤到さん)

- 【優良賞】▼伊藤心菜(加賀野小)▼佐々木陽菜(佐沼小)▼瀬川結月(加賀野小)▼阿部咲良(石森小)▼佐藤梨々愛(石森小)

- 【佳作】▼石川こころ(加賀野小)▼名生絹(佐沼小)▼菅原瑞稀(加賀野小)▼高松幸叶(加賀野小)▼長田実優(浅水小)▼狩野美月(佐沼小)▼佐々木愛菜(佐沼小)▼山内心那(加賀野小)▼小野寺理桜(浅水小)▼佐藤唯華(加賀野小)

※入賞作品は、3月23日(月)までイオンタウン佐沼に、24日(火)から31日(火)まで追陽書館白鳥ライブラリー・爽陽に展示するほか、市公式ホームページでも紹介していますので、ご覧ください

【問い合わせ】追陽書館白鳥ライブラリー・爽陽
☎0220(22)9820



市公式HP「本創作コンクール」

移動支援事業を実施する 市民活動団体を支援します

交通弱者の移動支援を推進するため、市内の市民活動団体が自らの車両を使用して、町域内などの身近な地域で高齢者などの交通弱者を対象に運行する、移動支援事業に補助金を交付します。

【補助対象団体】次の全ての要件を満たす市民活動団体▼市内在住者の構成員が5人以上であること▼市内に拠点を置き、市内で運行しているか運行予定であること▼運営と組織に関する会則、規約等があること

※営利を目的とし公益性を欠く場合、政治活動や宗教活動を目的とする場合は除く

【補助対象事業の経費】▼運行車両の任意保険料▼運行車両の借上料

※月4回以上運行してください。月4回未満の場合は、その月は補助対象外になります

【補助金申請の制限】運行車両の任意保険料と借上料は、併用して補助申請が可能です。1年度当たり1団体につき、それぞれ1車両分の交付となります



市公式HP「市民活動支援事業」

【補助対象期間】4月1日から令和9年3月31日まで

【補助金申請期間】▼すでに事業を実施している4月1日から補助事業に該当する場合▼4月1日から5月29日まで▼補助決定後から運行を開始する場合▼4月1日から7月31日まで

【問い合わせ】まちづくり推進部市民協働課(地域交通・交流係)
☎0220(22)2173

■補助金の補助率・補助上限額

補助対象経費	車両区分	補助率	補助上限額 (1台当たり)
運行車両の任意保険料	軽自動車	2分の1(事業専用車の場合10分の10)	80千円(事業専用車の場合160千円)
	普通自動車		130千円(事業専用車の場合260千円)
運行車両の借上料	軽自動車	2分の1	120千円
	普通自動車		170千円

きれいな水と美しい自然環境を守る 水道週間作品コンテスト入賞者を紹介

市が開催した「第67回水道週間作品コンテスト」に市内の小中学生などから207点の応募がありました。入賞者は、次の通りです。

また、各部門の優秀な作品は、水道週間協賛懸賞募集(日本水道新聞社主催)に出品し、作文小学校高学年の部で二瓶昂さん(佐沼小)、図画小学校高学年の部で阿部恵美さん(南方小)が入選しました。

山東小

● 図画中学校の部

【特選】渡邊みさき(東和中)

【入選】千枝朱庵(東和中)・千葉藍(東和中)・辻凜風(東和中)・後藤彩之(登米中)

● 習字小学校低学年の部

【特選】佐々木綾子(佐沼小)

【入選】岩淵佑音(東郷小)・松永雛乃(佐沼小)・寺崎ましろ(加賀野小)

● 習字小学校高学年の部

【特選】千葉菜月(東和小)

【入選】伊藤心菜(加賀野小)・藤原そ愛(佐沼小)・三迫芽衣(佐沼小)

● 標語の部

【特選】齋藤愛己(一般)「朝いちに使える水のありがたさ」

【入選】青山ひな(佐沼小)「つなごうよ未来へのパトロン水道水」

及川煌之介(新田小)「登米市の水一度飲もうよ最高だ」

高橋佑騎(佐沼小)「水道を大事に使い、いい気持ち」

● 作文小学校高学年の部

【特選】二瓶昂(佐沼小)「水はみんなの命」

【入選】千葉雪乃(東和小)「平和な水」・菊地芽愛(佐沼小)「世界にとどけ水と笑顔」

青山ひな(佐沼小)「おいしい水を世界へ」

※入賞作品は、上下水道部ホームページのイベント情報一覧から見る事ができます。スマートフォンでご覧いただく場合は、ページを開いた後、画面をタップすると全ページが確認できます。

【問い合わせ】上下水道部経営総務課(経営管理係)

0220(52)3313



図画小学校高学年の部
【特選】阿部恵美さん(南方小)



は部し
品道載
作水掲
賞上下
入HPに
掲載
ていま
す



環境事業所だより vol.19

市民の皆さんへ、環境事業所の仕事について、シリーズで紹介しています

～ごみの分別・出し方の出張市役所はいかがですか～

市は町内会などの団体を対象に、職員が集会所などに出向いて、ごみの分別や出し方を説明する出張市役所を実施しています。参加した人からは、「ごみが減って、ごみ袋が節約できた」、「ごみ出しの回数が減った」などの感想が届いています。ごみの分別について理解を深めるため、ぜひご利用ください。

【説明時間】60～90分

【申し込み】希望日の2週間前までに総務部市長公室に提出(日程は申し込む前に廃棄物対策課と調整してください)



【問い合わせ】環境事業所廃棄物対策課(廃棄物対策係)

0225(98)4372

800年以上続く伝統

防火願う米川の水かぶり

「米川の水かぶり」(同保存会主催)が2月1日、東和町米川地内で開かれ、大勢の人が訪れました。

この行事は、毎年2月の初午はつうまの日に開催している火伏せの行事で、ユネスコ無形文化遺産と国指定重要無形民俗文化財に登録されています。わら装束を身につけ、顔にすすを塗った男衆28人が、火の神の化身として、家の屋根にめがけて勢よく水をかけて回り、火伏せを祈願しました。及川太陽さん=仙台市=「実家が近くなので、いつも家族で楽しみに来ています。わらをいっぱい取ったので、屋根に上げて火災除けのお守りにします」と話していました。



「ホーホー」と声を発しながら水をかけて回る男衆。市内外から沿道を埋め尽くすほどの人が訪れ、奇祭を間近で楽しみました。

空き家問題を考える

セミナーと相談会を開催

「登米市空き家セミナー・空き家相談会」が2月7日、迫公民館で開かれ、市民23人が参加しました。

セミナーは、全国的な問題になっている空き家の発生を抑えることと、適正な管理につなげることを目的に開催。全国古民家再生協会の桂田彰子さんが講演し、参加者は空き家の問題点や対策方法についての知識を深めました。東日本大震災を機に市内に移住したという参加者は「以前住んでいた家が空き家になっているので参加しました。子どもも離れて暮らしているので解体を考えていますが、これからいろいろ話を聞いて検討していきたいです」と話していました。



セミナー後の個別相談会の参加者は、リフォームなどの利活用や処分の方法などについて相談していました。

ほっこりアート堪能

ふるさと記念館で企画展

第26回自主企画展「徳治昭童画展 ほっこりワールド in石ノ森章太郎ふるさと記念館」が2月7日から3月8日まで、同館企画展示室で開かれました。

企画展では、「ほっこり」・「かわいい」童画で見る人の笑顔を引き出す、イラストレーター兼童画家の徳治昭さんが描いたオリジナル作品のほか、「サイボーグ009」や「ウルトラ怪獣」など、日本の名作とのコラボ作品を展示。ワークショップに参加した千葉日葵さん(9)=中田町新町=「絵を描くのが好きで、友達と参加しました。指で描くのが新鮮で楽しかったです。かわいく描けたので家に飾ります」と話していました。



2月8日には徳さん本人を招いたワークショップを開催。筆を使わず、指で絵の具を広げ、個性あふれる作品が完成しました。

青年の力で文化育む

登米市青年文化祭を開催

「第21回登米市青年文化祭」(登米市青年団連絡協議会主催)が2月8日、南方農村環境改善センターで開かれ、多くの来場者でにぎわいました。

文化祭は、郷土芸能やダンスなどのステージ発表のほか、音楽を聴きながら絵を描くワークショップや、プラモデル・紙飛行機作りなどの体験ブース、さまざまな作品の展示発表など、多彩な内容で催され、来場者を楽しませました。ボランティアとして参加したジュニアリーダーの千葉椰央佳さん(16)＝中田町野本＝は「これまで知らなかった伝統芸能もあり、今回初めて触れて『自分もやってみたい』と感じました」と話しました。



地域で伝統芸能や文化活動に励む若い世代が、活動の成果を発表。ステージ発表では会場が一体となって盛り上がりました。

人形劇で防災伝える

消防団女性分団防災教室

市消防団女性分団による「防火・防災教室」が2月18日、南方幼稚園で開かれ園児約20人が参加しました。

防災教室は、子どもの防災の知識や意識を育むことを目的に開催。女性団員が、火遊びの怖さを伝える紙芝居や人形劇などを披露して、マッチやライターを使って火遊びをしないことや火事起きたときは、煙を吸わないように、低い姿勢で移動することなどを呼びかけました。年長の千葉鈴蘭さんは「人形劇とクイズが楽しかったです。女性団員の皆さんから火事起きたときの逃げ方を教えてもらったので、おうちに帰ってみんなに話します」と笑顔を見せました。



人形劇では、火遊びは絶対にしてはいけないことなどを伝え、園児たちは真剣な表情で話を聞いていました。

正しい所作で美しく

南方中卒業記念礼法講座

「卒業記念礼法講座」が2月18日、南方農村環境改善センターで開かれ、南方中学校の3年生約70人が参加しました。

礼法講座は、あいさつなどの作法を身に付けるため、3年生の卒業記念講座として毎年開催。新邦楽舞踊若泉流貴智栄会会主で師範の鈴木智栄子さん＝南方町新高石＝を講師に迎え、生徒たちは基本の礼法や美しく見えるあいさつのこつなどを学びました。星瑞騎さんは「さまざまな所作を学び、改めて日本の文化に触れた気がしました。卒業式では今日学んだことを生かして、お辞儀の角度を意識します」と話しました。



生徒たちは、あいさつの基本となるお辞儀の角度や手の位置などを、お互いに見比べながら楽しく学びました。

よりそい半世紀

健康で孫の成長を楽しみに

★お互いの性格は

【清美】とにかくしゃべるね。話してて楽しいけど、おれがあまりしゃべれないんだよ。

【けい子】まじめで几帳面だよ。しっかりしていて頼りがいがあるの。

★今までの思い出は

【清美】今まで大変なこともあったけど、家を建てて孫にも恵まれたから幸せだね。

【けい子】夫は調理の仕事をしていたこともあって、私に作ってくれた最初の料理がオムライスだったんだけど、とてもおいしくて今でも印象に残ってるよ。

★これからしたいことは

【清美】孫がめんこくて毎日楽しいよ。これからも成長を見守っていききたいな。

【けい子】以前、夫が体調を崩したんだけど、リハビリのおかげで元気になったから、リハビリを担当してくれた人に感謝してるの。これからも家族みんな健康で暮らしていけたらいいね。



佐々木 清美^{きよみ}さん(86)

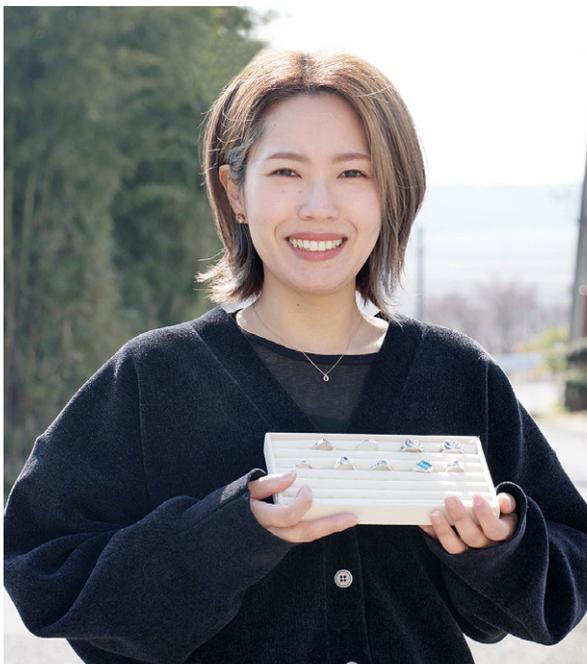
けい子^{けいこ}さん(77)

豊里町・横町／1973(昭48)年10月入籍

「日常に輝きを」

千葉 侑希^{ゆき}さん

迫町・永田



市民リレーエッセイ

私は、福島県出身で結婚を機に夫が住む登米市に移住しました。現在は3児の母で、迫町北方でジュエリーの石留の仕事をしています。知らない土地での子育てに悪戦苦闘の毎日でした。そんな中、2人目の子どもを里帰り出産した直後に父が亡くなりました。私の実家はジュエリー加工業を営んでおり、亡くなった父が創業した会社を継いだ兄から石留の職人にならないかと誘われて、当時2歳の息子と生後半年の娘を連れて約1年間兄の下で修業しました。幼い子どもたちと離れた生活になることを承諾してくれた夫には感謝しています。

登米市に戻ってきて「アトリエyuki」として開業し、7年目を迎えました。現在は依頼を受けた石留の仕事のほかに、職人歴20年以上の兄が創るオリジナルアクセサリーの販売もしています。数居の高いものと思われがちな貴金属ですが、特別な日だけでなく、日常に溶け込むような身近に感じていただけるようなものを創っていきけるように頑張っていきたいです。

次号は、阿部 祐弥^{ゆうや}さん＝迫町新町＝へバトンをつなぎます



わたしが描く夢

佐藤 波希 さん

米山中2年 / 米山町・下小路

寄り添い、支える人になるために

私には思い描いている夢が二つあります。
一つ目は市職員になることです。昨年、米山総合支所で職場体験活動をさせていただき、職員の方のお話から、暮らしを支える仕事の大切さとやりがいを感じたからです。

二つ目は教員になることです。学校生活で、情熱あふれる先生方の姿に憧れを抱いたからです。特に、小学6年生の時の担任の先生や中学校の先生方の姿を見て、「私も誰かの成長を近くで見守り、支えたい」と考えるようになりました。

この二つの夢に共通しているのは、「人の意見を近くで聞き、支える」という強い思いです。市職員として市民に寄り添う道も、教員として子ども達の心に寄り添う道も、どちらも今の私にとって将来に向けた大切な目標です。現在は、どの道に進んでも誰かの力になれるよう、日々の勉強はもちろん、コミュニケーション能力を磨くことなどに取り組んでいます。これからも夢の実現に向けて一歩ずつ進んでいきます。

わが家のアイドル

【わが家のアイドル応募方法】

右の二次元コードを読み込み、申請してください
※申込状況により、掲載まで数カ月かかる場合があります
【問い合わせ】総務部市長公室(広報広聴係) ☎ 0220(22)2090



及川 真尋 くん(11カ月)

2025年3月21日生まれ
中田町・表
諒さんの次男

太陽のように明るい笑顔のまーちゃん。こっちもつられてニコニコ。お兄ちゃんと仲良く元気に育ってね。



佐藤 瑞希 ちゃん(8カ月)

2025年6月25日生まれ
東和町・錦織3区
健太郎さんの長女

毎日成長中！かわいい笑顔に家族みんなが癒されています。これからも元気にすくすく育ってね！

大村 瑚和 ちゃん(10カ月)

2025年5月9日生まれ
米山町・新町
達也さんの三女

姉姉たちと遊ぶの大好きみんなの癒しのこよちゃん。これからも元気に大きくなってね。



佐々木 心暖 ちゃん(10カ月)

2025年5月8日生まれ
迫町・平柳
友弘さんの長女

毎日できることが増えていくね。これからも笑顔いっぱいすくすく育ってね。生まれてきてくれありがとう。



健康

高齢者の相談窓口 地域包括支援センター

地域包括支援センターは、地域で暮らす高齢者の皆さんを、介護、福祉、健康、医療など、さまざまな面から総合的に支える相談窓口で、市内5カ所に設置しています。

「できるだけ自立して生活したい」「近ごろ物忘れが多くなり心配だ」「もしかして虐待ではない」「ひとり暮らしが不安」といった、高齢者やその家族、地域住民、ケアマネージャーなどから寄せられたさまざまな相談事を、関係機関と連携して解決に努めます。地域包括支援センターの職員は、主任ケアマネージャー、社会福祉士、保健師等が中心となって、チームで活動しています。

相談窓口は、お住まいの住所の地域包括支援センター

4月の献血日程

4日(土)
イオンタウン佐沼
10:00~11:45
13:00~16:00



※日程は変更になる場合があります。最新の日程については、市公式ホームページをご覧ください。下記まで問い合わせください。

【問い合わせ】
市民生活部健康推進課
(保健推進係)
☎ 0220(58)2116

■高齢者の相談窓口

地域包括支援センター	電話番号
迫地域	0220(22)1152
中田・石越地域	0220(34)7611
石越分室	0228(34)4151
東和・登米地域	0220(53)4811
登米分室	0220(52)5090
米山・南方地域	0220(29)5821
南方分室	0220(58)4311
津山・豊里地域	0225(68)3780
豊里分室	0225(76)4811

となりますので、お気軽にご相談ください。

【問い合わせ】福祉事務所長寿介護課(地域包括支援係)
☎ 02220(58)5551

市民の健康づくり促進 ウォーキングイベント

東北新生園を会場にウォーキングイベント「Vitality登米ウォーク」東北新生園コースを開催します。歩きながら、園

4月の休日当番医

4月のこころの相談

日	場所・受付時間・担当
8 ☎	迫保健センター 10:00~11:00 臨床心理士・ 精神保健福祉士・ 公認心理師
14 ☎	米山総合支所仮庁舎 13:30~15:30 医師

医師・臨床心理士などが相談に応じます。安心してご相談いただくため、完全予約制です。相談日(土日、祝日を除く)まで、下記の総合支所まで申し込みください。

- 迫町域にお住まいの人
迫総合支所 ☎ 0220(22)5554
- 中田・石越町域にお住まいの人
中田総合支所 ☎ 0220(34)2314
- 東和・登米町域にお住まいの人
東和総合支所 ☎ 0220(53)4113
- 米山・南方町域にお住まいの人
米山総合支所 ☎ 0220(55)2112
- 豊里・津山町域にお住まいの人
豊里総合支所 ☎ 0225(76)4113

登米市民病院小児科救急診療

● 日曜日:受付時間9:00~16:30
● 夜間:小児(6歳以上)の診察を希望する場合はご連絡ください
【問い合わせ】登米市民病院
☎ 0220(22)5511

日	休日急患当番医	歯科休日当番医
5 ☎	米谷病院(東和町) ☎ 0220(42)2007	布施歯科医院(迫町) ☎ 0220(22)2048
12 ☎	しのはらクリニック(米山町) ☎ 0220(23)7387	津山歯科診療所(津山町) ☎ 0225(68)3244
19 ☎	佐藤医院(南方町) ☎ 0220(58)2058	はら歯科医院(米山町) ☎ 0220(55)3313
26 ☎	菅原内科クリニック(迫町) ☎ 0220(22)0888	ちば歯科クリニック(迫町) ☎ 0220(22)6007
29 ☎(祝)	遊佐内科胃腸科医院(迫町) ☎ 0220(22)2177	中江歯科クリニック(迫町) ☎ 0220(22)7767

● 診療時間 9:00~12:00、13:30~17:00
【休日急患当番医】
● 第2次診療 登米市民病院 ☎ 0220(22)5511
【問い合わせ】登米市医師会 ☎ 0220(22)2084
※月~金曜日(休日を除く)
【歯科休日当番医】
【問い合わせ】市民生活部健康推進課(保健推進係) ☎ 0220(58)2116
※当番医は、変更する場合があります。各医療機関に確認の上、受診ください

石巻市夜間急患センター

● 診療科目 内科、外科、小児科 ※原則応急処置まで
診療時間など、詳しくは問い合わせください
【問い合わせ】石巻市夜間急患センター(石巻赤十字病院敷地内) ☎ 0225(94)5111

自殺予防 仙台いのちの電話

誰にも言えない気持ち
聞かせてください。

☎ 022(718)4343

ひきこもり ひとりで悩まないで

宮城県ひきこもり地域支援センター

☎ 0229(23)0024

子ども夜間安心コール

● 電話番号
8000
(プッシュ回線の固定電話、携帯電話から)
☎ 022(212)9390
(プッシュ回線以外の固定電話から)
● 相談時間
毎日午後7時~翌朝午前8時

内に植樹された千本の桜と資料館等を見学し、ハンセン病の歴史を学びましょう。
【対象者】市内に在住・在勤・在学する人

【場所】東北新生園(迫町新田字上葉ノ木沢地内)

【日時】4月9日(木)午前10時

※雨天中止、小雨決行

【募集人数】50人(先着順)

【申込期限】4月2日(木)

【申込方法】電話または左記二次元コードの申し込みフォームから申し込みください



米東コ込
 園生申
 込フォーム
 「Vitality登
 ウォーク
 北一ス」
 米東コ込
 園生申
 込フォーム

ぼくわたしむし歯ないんだよ

3歳6カ月健診で
 むし歯のなかったこどもたち
 (2月応募受付分)



大沼 真歩ちゃん
 (迫町平柳)



木村 咲翔くん
 (迫町天形)



高橋 咲南ちゃん
 (迫町錦西)



千葉 湊くん
 (迫町萩洗)



林 幸優くん
 (迫町大網東)



星 千晴くん
 (迫町品の浦)



須藤 凜ちゃん
 (登米町田野渡)



武田 ひなたちゃん
 (東和町米谷3区)



西條 陽音くん
 (中田町駒牽)



佐藤 希帆ちゃん
 (中田町城内)



佐藤 未来ちゃん
 (中田町加賀野一)



竹澤 桃香ちゃん
 (中田町東)



畠山 陽成くん
 (中田町本町畑中)



後藤 優来ちゃん
 (米山町後小路)



土屋 凜空ちゃん
 (南方町北本郷)

【申し込み問い合わせ】市民生活部健康推進課(保健推進係)
 ☎0220(58)2116

がん検診を受診しましょう

日本では、国民の2人に1人が「がん」になるというデータがあります。身近にがんを経験した人がいないと、「自分は大丈夫だ」と思ってしまうがちですが、決して他人事ではありません。

がん検診は、症状のない人の中からがんの疑いのある人を見つける方法です。検診によって早期発見し、治療する

ことで、8割以上治るがんもあり、完治の可能性も高まります。そのため、定期的ながん検診の受診が大切です。

●がんの予防

がんは、日本人の死因の第1位の病気です。本市でも、がんによる死亡は心疾患や脳血管疾患を上回り、最も多くなっています。がんの発症には、食生活や飲酒、喫煙(受動喫煙を含む)などの日常生活の習慣が大きく影響します。検診をきっかけに、日頃の生活習慣を見直し、健康的な生活習慣を身に付けましょう。

●各種検診の日程など

令和8年度の日程などは、

【日本人のためのがん予防法(5+1)】



参考・出典: 国立がん研究センター

市公式ホームページに掲載しているほか、申込書と併せて町域ごとに送付しています。

提出期限が過ぎた場合は、問い合わせください。
 ※豊里・迫地域在住の人は、4月下旬頃に送付予定です

【問い合わせ】お住まいの町域担当の総合支所市民課(健康づくり係)(24ページ)「こころの相談」(申込先参照)



「各町
 市公式HPに
 検診にて
 いて」

妊娠・出産・子育てを応援講座やサロン

●よりよい・ほっと相談

子育てなどについて一人で悩まず相談してみませんか。

【日時】4月21日(火)午前10時

午後3時(要電話予約)

●わくわくマタニティサロン

【内容】妊娠・出産の経過、妊娠中の過ごし方、お産のしくみ、呼吸法、マタニティヨガ、マタニティブルーについて

【日時】4月22日(水)午前10時

午後11時45分(要電話予約)

●共通事項

【場所】南方子育てサポートセンター

【申し込み・問い合わせ】福祉事務所子育て支援課(母子保健係)

☎0220(58)5557



東北風土マラソン&フェスティバルHP

「東北風土マラソン&フェスティバル2026」を開催します。メイン会場では、登米フードフェスティバルや東北日本酒フェスティバルも同時開催され、走る人も走らない

**東北風土マラソン
2026を開催します**

催し

**情報場
Information**

**夜間納税相談窓口
(4月・5月分)**

【日時】4月30日(木)
5月28日(木)
午後7時まで
【場所】総務部税務課
(迫庁舎1階)

【問い合わせ】
総務部税務課(徴収対策係)
☎ 0220(22)2169

人も楽しめるイベントです。ぜひ、ご来場ください。

【日時】4月19日(日)午前8時30分から

【場所】長沼フットピアトヨテツの丘公園

※市役所迫庁舎からイベント会場まで、無料シャトルバスを運行します

【問い合わせ】登米市観光物産協会

☎ 02220(52)4648

**マイナンバーカード
申請サポート**

マイナンバーカードの申請を検討している人は、ぜひ、ご利用ください。予約不要です。

【場所・日時】

- ① 市役所南方庁舎 2階
4月8日(水)、15日(水)
午前9時30分～午後3時
(午前11時30分～午後1時までを除く)
- ② 市役所中田庁舎 1階
4月22日(水)
午前9時30分～11時30分

【問い合わせ】市民生活部市民生活課(戸籍係)
☎ 0220(58)2118

**みやぎの明治村
企画展「水沢くくり雛」**

奥州市水沢の「くくり雛」、伝統の優雅で色鮮やかなひな人形を展示します。

【日時】4月11日(土)～19日(日)／午前9時～午後4時30分

【場所】高倉勝子美術館桜小路

【入館料】一般200円、高校生150円、小中学生100円

【問い合わせ】とよま振興公社
☎ 02220(52)5566

**平筒沼ふれあい公園
桜まつりを開催します**

40年前に平筒沼の周囲に植樹された約800本の桜が沼の周囲を彩ります。夜は浮棧橋などにライトが灯され、水面に映し出される桜と提灯の明かりが幻想的で昼間とは一

味違った桜が楽しめます。



【日時】4月12日(日)午前10時から

【場所】平筒沼ふれあい公園

【ライトアップ期間】4月5日(日)～19日(日)／午後6時～9時30分

【問い合わせ】▼平筒沼桜まつり実行委員会事務局(米山総合支所市民課内)

電気工事・オール電化工事・電気通信工事
太陽光発電設備工事・消防設備工事・点検

有限会社 五島電機

登米市中田町宝江新井田字荒谷60-1

TEL.0220-34-3349 FAX.34-5792

エネルギーに夢をのせて・・・クマンドリームガス

KN KUMANEN

快適生活 創造企業 **熊谷燃料住設株式会社**

DRIMEEくん **災害時安定供給施設**

- なごみの家きらり
- コインランドリー・清潔空間
- コインランドリー・しゃぼん玉
- 網ネオウイング
- 燦ケアサービス(株)

TEL.0220-22-2415(代)

住宅入居者を募集

▶ 迫梅ノ木住宅1号棟202号(S61年築)

住所=迫町佐沼字八幡1丁目6番地1
 募集戸数=1戸
 (3階建て集合・2階・3LDK)
 家賃月額=1万9,400円~3万8,200円
 駐車場契約なし

▶ 迫西大綱第二住宅16号(H28年築)

住所=迫町佐沼字大綱407番地6
 募集戸数=1戸
 (2階建て集合住宅・1階・2DK)
 家賃月額=1万5,500円~3万500円
 駐車場利用は1台のみ(別途2千円)

市営住宅

【入居資格】住宅に困っている世帯

※市営住宅は低所得世帯であることなどの入居要件があります

※詳細は住宅都市整備課または各総合支所市民課備え付けの募集要項を確認ください

【申込期限】3月31日(火)※期限厳守・郵送不可

【申し込み】各総合支所市民課、住宅都市整備課

【問い合わせ】建設部住宅都市整備課(住宅係)

☎0220(34)2316

※市営住宅の他に、定住促進住宅(迫・中田・東和・豊里・石越)も随時募集しています

東和陶芸教室の 受講生を募集

令和8年度の東和陶芸教室を開講します。誰でも応募でき、初心者も大歓迎です。

【期間】5月~10月

※開講式は5月7日(木)午前9時

【日時】▼昼の部▶原則毎週火曜日/午前9時~午後2時 / 初回5月12日(火)▼夜の部▶

募 集

☎0220(55)2111
 ▼桜の開花状況について▶平筒沼youyou館
 ☎0220(55)4007



原則毎週水曜日/午後7時30分~9時30分/初回5月13日(水)
 【場所】東和陶芸場
 【年会費】9千円(材料費含む)
 【募集人数】昼の部・夜の部各30人(先着順)
 【申込期間】4月1日(水)~15日(水)
 【申し込み・問い合わせ】東和教育事務所
 ☎0220(53)4115

養育里親・養子縁組里親 登録研修を開催します

さまざまな理由により、家庭で暮らせない子どもたちを、自分の家庭に迎え入れ、温かい愛情と正しい理解をもって育てる「里親」が必要とされています。その里親になることを希望する人のための里親登録研修を開催します。

【日程】▼基礎研修▶(講義)6月6日(土)、(実習)6月20日(土)▼登録前研修▶(講義)7月4日(土)~5日(日)、(実習)7月中の連続した2日間
 【場所】▼講義▶宮城県庁舎・日立システムズホール仙台▼実習▶県内の児童養護施設・乳児院

【申込期間】4月8日(水)~5月8日(金)

【申し込み】宮城県東部児童相談所

☎0225(95)1121

【問い合わせ】みやぎ里親支援センター(みやぎ)

☎022(718)1031

手話通訳者養成講座 受講生募集

手話通訳者養成講座を5月から開催します。

【対象者】手話通訳者を目指

し、次の条件を満たす人▼聴覚障がい者と手話で日常会話ができる▼県内在住で、研修終了後に登録試験を受験し、手話通訳者として登録・活動できる

【募集人数】20人

【日程】5月~令和9年10月の主に土曜日(2年間83講座)

【場所】みやぎハートフルセンター(仙台市)

【選考試験日】4月25日(土)

【費用】受講料無料。テキスト代として1万2650円

【申込期限】4月20日(月)必着

【申込方法】左記二次元コード先の申し込みフォームから

か、申込用紙に必要事項を記入し、郵送、ファクシミリまたはメールで申し込みください

※詳細は、宮城県聴覚障害者情報センターホームページをご覧ください

【問い合わせ】宮城県聴覚障害者情報センター(みみサポみやぎ)

☎022(393)5501

FAX 022(393)5502

✉ info@mimisuppo-miyagi.org



参加申し込みフォーム「手話通訳者養成講座」

DAIYU HOME CENTER
 タイヨーエイト 登米中田店
 季節の花苗・野菜苗
 大量入荷しました

店内にて
100円ショップ
 好評営業中!

Watts with

税抜**3,000円**以上お買上げで
 毎月8のつく日 + 毎週土曜日
5倍ポイント

タイヨーエイト登米中田店案内図 広告

ウジエスパーさん
 マットモト
 薬王堂さん
 JAみやぎさん
 中田 総合体育館
 登米市立 登米小学校
 登米市立 登米小学校

ヨークタウン内
 タイヨーエイト 登米中田店
 宮城県登米市中田町石森字駒牽400
 TEL 0220-23-9433
 営業時間 あさ8時~よる8時まで

登米市は自主財源を確保するため、広報とめに有料広告を掲載しています。

家庭教育支援チーム 「登き米き」チーム募集

一緒に活動するチーム員を募集します。

【活動内容】笑顔でたくましく生きる子どもたちを育むため、子育て中の親の「学び」や「気づき」の機会となる講座を開催します。また市内の公民館等が主催する、子育て中の保護者が対象となる講座の際に一時的な子どもの預かり(託児事業)をしています。

【対象者】次のいずれかに該当する人▼宮城県が実施する子育てサポーターリーダー養成講座と子育てサポーター養成講座を修了した▼家庭教育と幼児教育に携わり、活動実績がある▼ボランティア活動等の経験がある

【申し込み・問い合わせ】教育委員会教育部生涯学習課(生涯学習推進係)
☎ 0220(34)2698

国土交通省 河川愛護モニター募集

日常生活の中で知った北上川に関する情報を河川管理者(国土交通省北上川下流河川事務所)へ連絡する、河川愛護モニターを募集します。

【対象者】北上川の近隣に在住し、河川に接する機会が多く、河川愛護に関心のある20歳以上の入

【募集人数】1人
【活動区間】北上川左岸(柳津大橋から二股橋まで)▼北上川右岸(登米船着き場から登米大橋まで)

【任期】7月1日から令和9年6月30日まで

【報酬】月額4500円程度

【申込方法】履歴書を郵送してください(写真貼付・応募動機をなるべく詳しく明記)

【申込期限】5月15日(金)必着

※選考結果は郵便で通知
【申し込み・問い合わせ】国土交通省北上川下流河川事務所
占用調整課
〒986-0861/石巻市蛇田字新下沼80
☎ 0225(94)9851

気仙沼高等技術専門学校 訓練生を募集

●介護職員初任者研修科

【訓練内容】介護知識と技能、パソコンの知識と基本操作等

【対象者】現在求職中の人

【募集人数】10人

【訓練期間】4月22日(水)～7月21日(火)

【訓練場所】職業訓練法人東磐

情報広場

職業訓練協会(岩手県一関市)

【申込期限】4月8日(水)午後5時まで

【面接選考日】4月13日(月)

【費用】受講料は無料。テキスト代などは自己負担

【申込方法】お住まいの地域を担当するハローワークで相談の上、入学願書を提出

【問い合わせ】気仙沼高等技術専門学校
☎ 0226(22)7068

お知らせ

固定資産価格等縦覧帳簿を縦覧できます

令和8年度固定資産価格等縦覧帳簿を縦覧できます。

縦覧制度は、納税者が所有する固定資産の価格が適正なのかを判断するために、土地や家屋の価格を確認できる制度です。

【期間】4月1日(水)～6月1日(月)／午前8時30分～午後5時15分

※土・日曜日、祝日を除く

【場所】各総合支所市民課、総務部税務課

【縦覧できる人】固定資産税(土地・家屋)納税者

※代理人の場合は委任状が必要

要です

【問い合わせ】総務部税務課(固定資産税係)
☎ 0220(22)2163

集会施設の建設や改修、備品購入を支援します

令和9年度に実施する集会施設の建設や改修、備品購入費用の一部を補助します。

【対象事業】①集会施設の建設・購入②集会施設の修繕・模様替え(バリアフリー化を含む)、増築③集会施設で使用するテーブル・イス等の備品購入
※③は、①、②と併用可能です

【補助率】2分の1以内

【限度額】①建設・購入 1千万円②修繕・模様替えなど 250万円③備品購入 50万円

【対象外経費】▼門、柵、塀、植樹などの建設付帯工事費・購入費▼用地取得費▼既存の建物の解体費▼座布団、テレビ、プロジェクターなど

【申込期限】9月30日(水)

※建設や改修のスケジュール、経費などは事前に相談ください

※要望金額の合計が予算額を超えた場合、優先基準に基づき補助団体を決定する場合があります



一日一組限定の特別な空間

広告

株式会社 市民葬祭



誠香社

24時間受付

0220-34-4856(代表)

水の里ホール・Abebisou 4月のイベント情報

日程	内容	問い合わせ
4/5 ㊤	● 萌乃会 希望の舞～舞踊絵巻～ 【開演】午後0時30分 【会場】大ホール 【入場料】2,000円	萌乃会 ☎ 080(6607)8405
4/12 ㊤	● 舞台技術講座 ～誰でも気軽に裏方体験～ 【時間】午前9時30分 【会場】大ホール 【受講料】1,000円(高校生は無料)	水の里ホール・ Abebisou ☎ 0220(22)0111
4/25 ㊥ ～ 5/5 ㊤ (祝)	● スタインウェイであそぼう 【時間】①午前10時 ②午後1時 ③午後3時30分 ④午後6時30分 ※④は平日のみ 【会場】大ホール 【参加料】1区分1,000円 要申し込み:4/11㊤午前9時受付開始	水の里ホール・ Abebisou ☎ 0220(22)0111
4/25 ㊥ ～ 5/5 ㊤ (祝)	● 第22回登展 ～登米市民ふれあい美術展～ 【時間】午前9時30分～午後4時30分 ※最終日は午後3時まで 【会場】小ホール 【入場料】無料	
4/25 ㊥ ～ 5/5 ㊤ (祝)	【作品募集】 ・作品規格:不問(オリジナル作品) ・テーマ:自由 ・サイズ:原則として30号まで ・作品は額に納め、額紐を付ける ・出展資格:高校生以上 ・出展数:1人3点以内 ・出展料:1点につき1,000円(高校生は1点につき500円)*搬入時に納入 ・申し込み締め切り:4月12日(日)	水の里ホール・ Abebisou ☎ 0220(22)0111

※休館日:6日、13日、20日、27日
※入場料は前売り価格です
※文化・教育関連のイベントを中心に掲載しています

登米市出身の若者を応援 奨学金返還額を補助

市は、若者の地元回帰と地域への定着を促すため、奨学金返還額の一部を補助します。

【対象者】申請時点で市内に住んでいて、次のいずれかに該当する人▼本市出身で、令和5年4月1日以降に本市にUター

【申し込み・問い合わせ】まちづくり推進部市民協働課(市民活動支援係)
☎ 0220(22)2173

ンをし、就労している▼令和6年2月1日以降に大学等を卒業し、引き続き市内に住所を有したまま就労している
※この他にも条件がありますので、事前に問い合わせください

【支給金額】1年間の返還額のうち、18万円を上限に補助します

【申込期間】4月1日(水)～9月30日(水)

【申し込み・問い合わせ】まちづくり推進部まちづくり推進課(ふるさと定住係)

新しい笑顔の拠点「登米市米山こども園」を開園

☎ 0220(23)7331

米山地区の米山幼稚園とよねやま保育園が統合し、新たに「登米市米山こども園」として4月1日に生まれ変わります。園舎は、住み慣れた「よねやま保育園」をそのまま活用。幼稚園の「教育」と保育園の「保育」を一つに融合させ、本市の宝である子どもたち、さらに一体感のある豊かな

な環境を提供します。また、地域全体で子どもたちの健全な成長を支えていきます。
【問い合わせ】福祉事務所子育て支援課(子育て支援係)
☎ 0220(58)5562

災害に備え 消防水利の点検を実施

市消防署では、災害時の使用に備えて消火栓バルブの開閉状況や防火水槽の水量など、消防水利の点検を実施します。交通量などには十分注意しますので、ご理解とご協力をお願いします。

【実施日時】4月6日(月)～5月29日(金)／午前9時～午後5時

【問い合わせ】消防本部警防課(警防係)
☎ 0220(22)1901



人と環境への
新しい優しさを
目指して
お気軽にご相談下さい

株式会社 清建

本社 / 〒987-0511 宮城県登米市迫町佐沼字南駒木袋212-3
TEL.0220-22-7085 FAX.0220-22-7658

有限会社 清建物流

TEL.0220-22-9430
FAX.0220-21-1535
本社 / 〒987-0512
宮城県登米市迫町森字平柳14-1

環境プロバイダ

有限会社 リースキン宮城

TEL.0220-22-3431
FAX.0220-22-3495
〒987-0511 宮城県登米市迫町佐沼字
下田中53番地8

仙台(営) / 〒989-3127 宮城県仙台市青葉区愛子東三丁目7番2号
TEL.022-799-7213 FAX.022-799-7214
南三陸(営) / 〒986-0782 宮城県本吉郡南三陸町入谷字大船沢313
TEL.0226-46-1027 FAX.0226-46-2122
URL www.kkseiken.co.jp E-mail info@kkseiken.co.jp

厚生労働大臣許可 指定居宅サービス事業所
有限会社 はさま看護婦・家政婦紹介所
すずらん保育園

TEL.0220-22-8064 FAX.0220-23-2728
〒987-0511 宮城県登米市迫町佐沼字中江2丁目21(中江ビル)
【すずらん保育園】TEL.0220-23-8688

登米市は自主財源を確保するため、広報とめに有料広告を掲載しています。

第3子以降の子の保護者 に入学祝金を支給

【対象者】4月に第3子以降の子が小学校に入学し、5月1日時点で市内に住所を有する保護者

【支給金額】1人につき3万円

【申請期限】5月19日(火)

【申し込み】各小学校

※詳細は小学校で配布する事業概要を確認してください

※市内に住所を有し、第3子以降が他の市町村の小学校に入学した場合は、問い合わせください

【問い合わせ】教育委員会教育部学校教育課(教育振興係)
☎ 0220(34)2679

狂犬病予防集合注射を 市内各町域で実施します

飼い主には、犬の登録、年1回の狂犬病予防注射、鑑札と注射済票を犬に装着することが法律で義務付けられています。新たに犬を飼った場合は、会場で登録手続きの上、注射を受けてください。

【日程】4月2日(木)～23日(木)

【新規登録料】1頭3000円

【予防注射代】1頭3600円

(注射料金3050円、注射済

票交付手数料550円)

※詳細は、毎戸に配布する「狂犬病予防集合注射について」をご確認ください

【問い合わせ】市民生活部環境課(生活環境係)

☎ 0220(58)5553



介護職員初任者研修等 受講料助成金を交付

市は、介護職員の人材確保や資質向上のため、介護職員初任者研修などの受講に対して助成金を交付します。

【対象研修】介護職員初任者研修、介護職員実務者研修

【対象者】助成対象研修を修了した人のうち、市内に住所を有し、次のいずれかに該当する人

▼研修修了後6カ月以内に市内介護事業所に就労を希望する▼申請時に市内の介護事業所に3カ月以上継続して従事している▼市内の介護予防・日常生活支援総合事業に

参加を希望する

【助成額】1人1回限り、5万円を上限として、研修の受講料(テキスト代を除く)の2分の1(税抜き)を助成します。

研修修了後6カ月以内に申請してください

【問い合わせ】福祉事務所長寿介護課(長寿社会係)

☎ 0220(58)5551



「介初受」
「員修等金」
「公職研助成」
「市職研助成」
「護者講料」

経済センサス―活動調査 を実施します

令和8年6月1日現在で、「令和8年経済センサス―活動調査」を実施します。この調査は、全ての事業所と企業を対象に、5年ごとに行われます。調査の結果は、行政の政策立案や民間での経営計画を進めていく上での参考資料として活用されます。

調査票は、調査員による直接配布か、国からの郵送により、5月末日までに配布されます。インターネット、紙の調査票のどちらでも回答ができます。4月中旬から、インターネット回答が先行して始まります。その後、未回答の事業所

ねんきんだより

国民年金保険料 在学中の納付を猶予

学生納付特例制度により、令和7年度に国民年金保険料の納付を猶予されている人で、令和8年度も在学予定の人には、4月上旬にはがきで学生納付特例申請書が送付されます。

同一の学校に在学し、引き続き学生納付特例制度を受ける場合は、在学証明書

や学生証の写しを提出する必要はありませんので、はがきに必要事項を記入し、返送ください。

なお、学生納付特例制度の利用を希望しない場合は、年金事務所までご連絡ください。

【問い合わせ】

▼古川年金事務所

☎ 0229(23)1200

▼市民生活部国保年金課

(年金医療係)

☎ 0220(58)2166

に対し、調査員が紙の調査票を配布します。

調査票に記入された事項は、統計以外の目的に使用することはありませんので、ご協力をお願いします。

【問い合わせ】まちづくり推進部まちづくり推進課(まちづくり推進係)

☎ 0220(22)2147

土砂災害への備えを 基礎調査の結果公表

県は、土砂災害防止法に基づ

き、基礎調査を進めています。登米市管内の調査が完了した箇所について、土砂災害警戒区域などの調査結果を公表しています。今後、所定の手続きを経て、順次、土砂災害警戒区域などに指定される予定です。

【問い合わせ】東部土木事務所登米地域事務所河川砂防第一班

☎ 0220(22)2763



「登調」
「HP基礎」
「公式結果」
「米市査」

4月の納税

4月の納税はありません

登米市の人口・世帯数

(令和8年2月末現在)

地区	世帯数	人口(人)			計 (前月比)
		男	女		
迫	7,758	9,115	9,534	18,649	(▲38)
登米	1,718	1,986	2,160	4,146	(▲5)
東和	2,142	2,527	2,564	5,091	(▲15)
中田	5,312	7,101	7,303	14,404	(▲16)
豊里	2,144	2,869	2,919	5,788	(▲13)
米山	2,757	3,856	3,932	7,788	(▲21)
石越	1,445	2,010	1,993	4,003	(▲12)
南方	2,714	3,746	3,896	7,642	(▲27)
津山	1,073	1,268	1,408	2,676	(▲19)
合計	27,063	34,478	35,709	70,187	(▲166)

※上記人口・世帯数には外国人住民も含まれています

市内の交通事故発生状況

(令和8年2月末現在) ※佐沼・登米警察署調べ

	R8	R7	増減数
人身事故発生件数	16件	8件	8件
死者数	0人	0人	0人
負傷者数	21人	13人	8人
物損事故発生件数	242件	220件	22件

※R8年1月からの延べ件数(前年同時期と比較)

警察署からのお知らせ

4月6日から春の交通安全運動が始まります。運動の主役は、市民の皆さん一人一人です。交通事故に遭わない、交通事故を起こさないために、正しい交通ルールを実践しましょう。

2月の災害件数

火災 救急 救助
8件 306件 3件

令和8年累計 (10件) (631件) (6件)

前年同月 2件 328件 4件

火災が発生しやすい季節です。枯草焼却などは、①風がないか確認②消防署に届出③消火器具等準備④火元から絶対離れず消火は確実に



ハローワークはさま発行求人情報

ハローワークはさまで発行している求人情報を掲載掲載日は祝日を除く毎週火曜日の午後3時です

農地移動適正化あつせん事業について

農地移動適正化あつせん事業は、農業振興地域内の農用地区域内にある農地の所有者が、受け手を探しても見つからない場合等に、農業委員会が農地の売買等の相談により、地域農業の担い手と結びつける事業です。

【対象農地】農業振興地域内の農用地区域内の農地
【受付開始】4月1日(水)から
※農業委員会が、あつせんの手(買主等)を選定します。農地の所有者(売主等)が相手指定することはできません。手続き方法や土地の譲渡所得税の優遇措置等について

JR東日本 列車運休のお知らせ



農正HP「農地移動あつせん事業」開始

気仙沼線「前谷地駅」柳津駅間で、日中帯の列車を運休

は、市公式ホームページをご覧ください
【注意事項】農地移動適正化あつせん事業を実施しても条件不利地などにより、農地の買い主等が見つからない場合があります
【問い合わせ】農業委員会事務局(農地管理係)
☎0220(34)2317

●下り

▼前谷地午前10時59分発↓柳津11時21分着(小牛田)前谷地駅間は通常運転)▼前谷地午後1時発↓柳津1時22分着

社会福祉協議会 生活相談のお知らせ

生活に関する不安や悩み、家庭の問題や近隣トラブルなど、困りごとを相談ください。
【日時】4月2日(木)午前10時

相談

【問い合わせ】JR東日本お問い合わせセンター
☎050(2016)1600

●上り

▼柳津午前11時30分発↓前谷地11時51分着▼柳津午後1時30分発↓前谷地1時50分着(前谷地)小牛田駅間は通常運転)
【問い合わせ】登米市社会福祉協議会
☎0220(21)6310

寄付

ご寄付いただき、ありがとうございます。1月受納)うございました。
●鈴木修一様/東和陶芸教室用陶芸窯・図書36冊
※市への寄付は、市公式ホームページにも掲載しています
【問い合わせ】総務部総務課(財産係)
☎0220(22)2091

ときめき人

Tokimeki bito

小学生最後の試合、宮城を背負い全国へ



第9回CBS少年軟式野球「6年生選抜大会」全国大会 出場 とめ 登米オールスターズ

大会登録メンバー			
氏名	氏名	氏名	氏名
鈴木 悠翔	及川 練	千葉 陽	
星 直樹	佐藤 大牙	千葉 輝良	
星 陽大	小川 幹大	千葉 大和	
佐藤 瑠依	今村 祐喜	千葉 瑞斗	
佐々木 翔輝	酒井 翔大	佐々木 風雅	
高橋 悠希	浅田 龍汰	尾形 璃樹	
菅原 亮平	佐藤 佳慎	石川 國刀	

1月10日から12日まで、千葉県南房総市で開催された「第9回CBS少年軟式野球『6年生選抜大会』全国大会」(同実行委員会主催)に、「登米オールスターズ」が宮城県代表として出場した。

市内の少年野球チームから選ばれた小学6年生の選手21人で結成された「登米オールスターズ」は、昨年11月に今大会の予選を兼ねて開かれた「第17回山崎武司杯少年野球選抜大会」に出場。予選を突破し、決勝戦では前年優勝の大崎市選抜を破って全国大会への切符を手にした。キャプテンとしてチームをけん引した東和ミラクル☆キッズ所属の及川練さんは、「普段と違うメンバーで最初はあまり話せなかったけど、練習を重ねる中でどんどん仲良くなり、協力してプレーできるように

なった」と話す。また、指揮を執った佐沼小ジャイアンツの杉山康成監督は、「コミュニケーション意識が高く、積極的な声掛けが相乗効果を生んでビッグイニングを量産できた」とチームを評する。

全国大会では、4チーム総当たりのブロック予選で2勝1敗と大健闘。惜しくも決勝トーナメント進出は逃したが、最終試合では仲間たちと築いたチームワークを存分に発揮し、小学生最後の大会を輝かしい勝利で飾ることができた。

「中学でも野球を続けるので、大会を通して学んだ部分を吸収して、今後に生かしたいです」と及川さんは声を弾ませる。全国の舞台で得た貴重な経験と仲間の存在を胸に、大きな成長を遂げた少年たちはそれぞれの野球人生を歩んでいく。

編集後記

▼礼法講座を取材。「心から相手を思い、感謝の気持ちを込めたあいさつは相手に伝わります」という講師の鈴木さんの言葉で、生徒の所作が一気に美しくなりました。「卒業式で生かします」と言っていた生徒たち。私も息子の卒業式で先生方に感謝の気持ちであいさつしました。(森田)

▼青年文化祭を取材。文化・芸術活動を次代へとつなぎ、見る人、来た人を楽しませようと真剣に取り組む姿が印象的でした。スマホなどで手軽に娯楽を楽しめる時代ですが、人が思いを込めて守り伝える文化活動には、やはり心を動かす力があると感じました。(添田)

▼取材先でハラスメントの話をする機会があり、そこで話題になったのがギャグハラ。何を隠そう、私はおやじギャグが大好きです。家族には一切反応してもらえません。が、職場では「それはおやじギャグですよ」と、部下が笑いながらツッコミを入れてくれます…。

そうか、これか。(高橋)



登米市公式ホームページ
https://www.city.tome.miyagi.jp/



登米市メール配信サービス
(防犯や防災、市政に関する情報などを配信)
https://plus.sugumail.com/usr/tome/home



登米市公式 LINE
(市政、イベント情報などを配信)
https://line.me/R/ti/p/%40972tqqam